

あったか  な 人と心が きづくまち

<下山>

## 〇●〇 下 山 〇●〇

下山地区は、市の東端に位置し、大山岬東の国道中央には、神木榎（なぎ）の木が残り、山を背に太平洋が広がる園芸の適地とされ、ハウス園芸やきぬさやえんどうの栽培が盛んです。

大山岬は、海と洞窟の絶景が広がり、漁港石積堤は、平成 18 年には「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選」に選ばれ、河野公園は「恋人の聖地」にも選定されました。

地域では、多くの人が高齢になっても生涯現役で少しずつでも農作業をし、元気でいきいきとした生活を過ごしています。



### ★ 下山地区の人口・地域福祉資源の概況 ★

世帯数	人口	65歳以上				介護認定者	障害者	子ども
		高齢者数	高齢化率	独居	世帯			
228 世帯	549 人	217 人	39.5 %	34 世帯	31 世帯	34 人	69 人	42 人

社会資源	主な 公共施設	公共施設	下山公民館 道の駅	集会所	不動 下山
		学 校	下山小学校		
		保育所等	—		
	福祉・保健・医療・施設等	—			

### ★ 下山地区のいいところ ★

- 地域のつながりが生活を充実させているところが下山の良さ。
- 民生児童委員や日赤奉仕団員が地域のことを考えてくれている。
- 学校行事にはたくさんの地域の人が協力をしてくれる。
- 大山と名綱に向かい合わせの地蔵があり、春と秋に掃除をしてお祭りをしている。

★ 下山地区の気になるところ ★

地域の声

ヒアリング調査  
ワークショップ  
からの意見



であい～拠点～

- 公民館長がいないため、公民館の鍵の管理は市役所がしている。（利用の度に借りに行かなければならない。）
- 役員の後継者がいない。
- 店がない。車に乗れなくなると買い物に困る。
- 部落長がいないので、行事のときに声をかける人が決まっていない。

- 下山集会所では百歳体操をしていて、みんなで色々な話ができ気分がいい。
- 小学校では地域の方が放課後子ども教室をしている。
- 部落会を開くようになり、浜遊び（浜会）を復活させた。（大山）
- 昔のように、地域が集う行事を行ってくれる人がいれば、協力はしたい。

ふれあい～共生～

- 神祭もなくなり、おきゃくもないし、神輿もない。

- 地区の行事は、ほとんど日赤がしてくれて、下山で一番活躍してくれている。（広報を配る時にはポストに入れずに声かけをしている。）
- 学校行事は、地区の人の協力が多い。
- 12月に開催されるふれあい祭りのもちつきは盛り上がる。
- 送迎があれば、百歳体操に行きたい。

かたりあい～協働～

- 下山は地区社協がないので、他の地区と同じようなことは難しい。
- 国道沿いはバスを利用したりしているが、山手の人は困る。

- 車に乗れなくなった人が買い物に行く際、連れて行ってくれるような制度がほしい。
- 不自由さを感じながらも、自分たちができる範囲でできることを行っている。

ささえあい～共助～

- 災害時に山へ逃げる道がない。
- 自主防災組織はあるが、高齢化が進み、機能していないところがある。
- 災害のことを考えると、サイレンやため池など色々な不安がある。

- 津波が何より心配だが、声をかけあい、とにかく高い所に逃げる意識をつけていきたい。

★ 下山地区で取り組んでいくこと ★



1. 出会いのための人づくり・場所づくり

項目	事業・取り組み		
	短期（1年）	中期（3年）	長期（5年）
あったかふれあいセンターのサテライトを実施	地区での集まりの機会をつくる。 （小学校体育館を活用したいきいき百歳体操など）	サテライトが継続的に行えるよう参加しやすい環境を整える。 （開催場所や時間、送迎などの工夫）	→
公民館の活用	公民館を拠点として地域活動が行えるよう住民同士の話し合いの場、居場所づくりに取り組む。（公民館長の選任）		→

2. 認め合い・理解し合える意識づくり

項目	事業・取り組み		
	短期（1年）	中期（3年）	長期（5年）
多世代交流活動の実施	学校や地域で開催されているイベントや行事に、高齢者と子どもがふれあう機会をつくる。	あったかふれあいセンターの事業と、学校行事の連携を図る。	浜遊びなど、地域の伝統行事の復活と、次世代の担い手育成に取り組んでいく。

3. 暮らしを支える福祉のネットワークづくり

項目	事業・取り組み		
	短期（1年）	中期（3年）	長期（5年）
民生児童委員活動の推進 （日赤との連携）	地域の主たる団体である日赤活動と民生児童委員が相互に情報共有し、情報の提供など連携を図っていく。	→	地域での話し合いの場を持ち、情報提供や情報発信の体制を築く。

4. 地域で安心・安全に暮らしていくための体制づくり

項目	事業・取り組み		
	短期（1年）	中期（3年）	長期（5年）
高齢者等見守りネットワーク活動の推進	日常のあいさつなどで、気軽に声をかけあえる関係づくりをする。	地域全体でお互いに助け合う意識付けを図る。	自主防災組織の活動や見守り活動の活性化を図る。